

# 奈良の丘だより

横浜市立奈良の丘小学校



学校教育目標 9月号  
笑顔いっぱい チャレンジいっぱい奈良の丘

- 自ら考え、進んで行動する子を育てます
- 互いに認め合い、高め合う子を育てます
- たくましく、共に生きる子を育てます

<http://www-local.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/naranooka/>

## 笑顔で楽しむことで・・・

校長 岩崎 健治

夏休みが明けて子どもたちの元気な姿が学校に戻ってきました。とにかく暑い夏、夏休みの間も猛暑日が続き、熱中症への最大級の警戒をするような内容が連日のように報道されていました。また、台風による被害や大雨による交通機関の混乱など、ここ数年、異常気象が続いており、暑さや大雨、猛暑日を「記録的な」「危険な」「過去最多の」などという言葉で表現されています。このような暑さ厳しい中でも学校の教育活動が順調にスタートできたことに感謝しています。

そんな猛暑の中、4年ぶりに実施されたものも多々ありました。学校では水泳学習が4年ぶりに全校で実施することとなりました。安全に学習できるよう、環境を整え、どの学年もある程度プールに入ることができ、楽しい水泳学習となりました。



また、地域では、夏祭りが4年ぶりに開催されました。多くの方が夏祭りに参加され、盛大に行われました。《校庭の遮光シート。少しでも日陰を》

この夏、心に残った出来事の一つに、第105回全国高校野球選手権記念大会の決勝戦があります。慶応義塾高等学校が107年ぶり2度目の優勝を果たしました。試合の中で、感じたのは、選手が一生懸命にプレーする姿だけでなく、笑顔で心から楽しんでいる姿が多く見られたことが印象的でした。「エンジョイ・ベースボール（楽しむ野球）」を掲げ、日本一になって高校野球の常識を覆そうと誓っていたようです。

子どもたちには休みに入る前に、この夏、何か一つでも「めあて」をもって取り組むとよいことを伝えました。暑さ厳しい中でも有意義に過ごし、元気に笑顔で登校してほしいとの願いも伝えました。休みの期間中、一人ひとりが「めあて」をもち、何か一つでも自分で取り組み楽しく充実した生活をしてきたことが、登校してきた子どもたちの元気な姿や笑顔、持ってきている夏休みの課題や作品、自由研究等から伺うことができました。

どんなことでもよいのですが、何か一つのことによって一生懸命に取り組むことで、そのことへの関わりが深まったり、協働して成し遂げたりすることで、楽しさや充実感、達成感を得ることはとても大切なことだと思います。これからも子どもたち一人ひとりを大切に、様々な教育活動で支援していき、学校教育目標の「笑顔いっぱい チャレンジいっぱい 奈良の丘」を目指してまいります。

そして、どんな状況でも前向きに楽しんで学校生活ができるよう、子どもたちの成長を支えていけるよう、職員一丸となって取り組んでまいります。

今後とも保護者の皆様、地域の皆様の変わらぬご理解とご支援をお願いいたします。